

Ⅱ. 一般入学試験要項

1 募集人員および日程

部	学部・学科／コース		募集人員	試験日	出願期間	合格発表	入学手続期間	
1部 (昼間部)	*経済学部 (経済・地域経済)	2月9日試験	80	2月9日(土)	平成31年 1月4日(金)～ 郵送 1月27日(日) 消印有効 窓口 1月28日(月) 午後4時締切	平成31年 2月23日(土) 午前10時	第一次手続 (入学金) 平成31年 2月23日(土)～ 3月2日(土) 第二次手続 (授業料等) 平成31年 2月23日(土)～ 3月8日(金)	
		2月10日試験	80	2月10日(日)				
	経営学部	経営学科	84	2月10日(日)				
		経営情報学科	70	2月11日(月)				
	*法学部 (法律・政治)	2月11日試験	65	2月11日(月)				
		2月12日試験	65	2月12日(火)				
	人文学部	日本文化学科	51	2月12日(火)				
		英米文化学科	46	2月9日(土)				
	工学部	社会環境 工学科	社会環境コース	13				2月10日(日)
			環境情報コース	10				2月11日(月)
		建築学科	20	2月9日(土)				
		電子情報工学科	35	2月10日(日)				
生命工学科		20	2月11日(月)					
2部 (夜間部)	*経済学部 (経済・地域経済)	2月9日試験	21	2月9日(土)				
		2月10日試験	21	2月10日(日)				
	経営学部	経営学科	50	2月10日(日)				
	*法学部 (法律・政治)	2月11日試験	36	2月11日(月)				
		2月12日試験	36	2月12日(火)				
	人文学部	日本文化学科	14	2月12日(火)				
		英米文化学科	10	2月9日(土)				

*経済学部・法学部は「学部」単位での募集とし、学科は1年次末に決定します。試験日自由選択制です。両日に出願することもできます。

2 出願資格

- (1) 高等学校を卒業した者および平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成31年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および平成31年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および平成31年3月31日までに修了見込みの者
 - ③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学省が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
 - ④文部科学大臣の指定した者
 - ⑤高等学校卒業程度認定試験に合格した者および平成31年3月31日までに合格見込みの者（大学入学資格検定に合格した者を含む）
 - ⑥その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者

3 入学試験科目・時間・配点

II
一般入学試験

部	学部	学科/コース	教科・科目	時間	配点	満点		
1	*経済学部 (経済・地域経済)	[外国語]	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	60分	150点	350点		
		[国語]	国語総合(近代以降の文章に限定)、現代文B	60分	100点			
		[選択]	日本史B、世界史B、地理B、政治・経済、数学【「数学Ⅰ・数学A」は必須解答(2題)、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学B」の中から選択解答(1題)する】の5科目から1科目を試験時選択 ※ただし数学Aは、「場合の数と確率」および「整数の性質」、数学Bは、「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする	60分	100点			
	経営学部	経営学科	[外国語]	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱまたは、外部試験のスコアを「外国語」の得点として換算(換算表は19頁参照)(注2)	60分	150点	350点	
			[国語]	国語総合(近代以降の文章に限定)、現代文B	60分	100点		
			[選択]	日本史B、世界史B、地理B、政治・経済、数学【「数学Ⅰ・数学A」は必須解答(2題)、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学B」の中から選択解答(1題)する】の5科目から1科目を試験時選択 ※ただし数学Aは、「場合の数と確率」および「整数の性質」、数学Bは、「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする	60分	100点		
		経営情報学科	[外国語]	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱまたは、外部試験のスコアを「外国語」の得点として換算(換算表は19頁参照)(注2)	60分	100点	350点	
			[国語]	国語総合(近代以降の文章に限定)、現代文B	60分	100点		
			[選択]	日本史B、世界史B、地理B、政治・経済、数学【「数学Ⅰ・数学A」は必須解答(2題)、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学B」の中から選択解答(1題)する】の5科目から1科目を試験時選択 ※ただし数学Aは、「場合の数と確率」および「整数の性質」、数学Bは、「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする	60分	150点		
	*法学部 (法律・政治)		[外国語]	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	60分	100点	300点	
			[国語]	国語総合(近代以降の文章に限定)、現代文B	60分	100点		
			[選択] 2/11 試験	日本史B、世界史B、地理B、政治・経済、数学【「数学Ⅰ・数学A」は必須解答(2題)、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学B」の中から選択解答(1題)する】の5科目から1科目を試験時選択 ※ただし数学Aは、「場合の数と確率」および「整数の性質」、数学Bは、「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする	60分	100点		
			[選択] 2/12 試験	日本史B、世界史B、地理B、政治・経済の4科目から1科目を試験時選択	60分			
	人文学部	日本文化学科	[外国語]	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱまたは、外部試験のスコアを「外国語」の得点として換算(換算表は19頁参照)(注2)	60分	100点	350点	
			[国語]	国語総合(漢文を除く)、現代文B	80分	150点		
			[選択]	日本史B、世界史B、地理B、政治・経済の4科目から1科目を試験時選択	60分	100点		
		英米文化学科	[外国語]	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ(注1)または、外部試験のスコアを「外国語」の得点として換算(換算表は19頁参照)(注2)	80分	150点	350点	
			[国語]	国語総合(近代以降の文章に限定)、現代文B	60分	100点		
			[選択]	日本史B、世界史B、地理B、政治・経済の4科目から1科目を試験時選択	60分	100点		
		社会環境工学科	社会環境コース	[外国語]	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	60分	100点	350点
				[数学]	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」は必須、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」から1題を試験時選択	60分	150点	
				[選択]	国語【国語総合(近代以降の文章に限定)、現代文B】、理科【物理(物理基礎、物理)】より1つを試験時選択	60分	100点	
			環境情報コース	[外国語]	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	60分	100点	300点
	[数学]			「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」は必須、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」から1題を試験時選択	60分	100点		
[選択]	国語【国語総合(近代以降の文章に限定)、現代文B】、理科【生物(生物基礎、生物)、化学(化学基礎、化学)、物理(物理基礎、物理)より各2問(計6問)を出題するので、そのうち2問(科目混合可)を選択解答する】より1つを試験時選択			60分	100点			
工学部	建築学科	[外国語]	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	60分	100点	300点		
		[数学]	「数学Ⅰ」は必須、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」から2題を試験時選択	60分	100点			
		[選択]	国語【国語総合(近代以降の文章に限定)、現代文B】、理科【物理(物理基礎、物理)】より1つを試験時選択	60分	100点			
	電子情報工学科	[外国語]	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	60分	100点	350点		
		[数学]	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」は必須、「数学A」、「数学B」から1題を試験時選択	60分	150点			
		[理科]	物理基礎、物理	60分	100点			
	生命工学科	[外国語]	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	60分	100点	300点		
		[数学]	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」は必須、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」から1題を試験時選択	60分	100点			
		[理科]	生物(生物基礎、生物)、化学(化学基礎、化学)、物理(物理基礎、物理)より各2問(計6問)を出題するので、そのうち2問(科目混合可)を選択解答する	60分	100点			

部	学部	学科／コース	教科・科目		時間	配点	満点	
2 部	*経済学部 (経済・地域経済)		[国語]	国語総合 (近代以降の文章に限定)、現代文B	60分	100点	200点	
			[選択]	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)、日本史B、世界史B、地理B、政治・経済、数学 (「数学Ⅰ・数学A」) の6科目から1科目を試験時選択 ※ただし、数学Aは、「場合の数と確率」および「整数の性質」を出題範囲とする	60分	100点		
	経営学部	経営学科		[国語]	国語総合 (近代以降の文章に限定)、現代文B	60分	100点	200点
				[選択]	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)、日本史B、世界史B、地理B、政治・経済、数学 (「数学Ⅰ・数学A」) の6科目から1科目を試験時選択 ※ただし、数学Aは、「場合の数と確率」および「整数の性質」を出題範囲とする	60分	100点	
	*法学部 (法律・政治)			[国語]	国語総合 (近代以降の文章に限定)、現代文B	60分	100点	200点
			[選択] 2/11 試験	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)、日本史B、世界史B、地理B、政治・経済、数学 {「数学Ⅰ・数学A」は必須解答 (2題)、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学B」の中から選択解答 (1題) する} の6科目から1科目を試験時選択 ※ただし数学Aは、「場合の数と確率」および「整数の性質」、数学Bは、「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする	60分	100点		
			[選択] 2/12 試験	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)、日本史B、世界史B、地理B、政治・経済の5科目から1科目を試験時選択	60分			
	人文学部	日本文化学科		[国語]	国語総合 (近代以降の文章に限定)、現代文B	60分	100点	200点
				[選択]	英語 (※) (コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)、日本史B、世界史B、地理B、政治・経済の5科目から1科目を試験時選択 (※)「選択 (英語)」については、外部試験のスコアを「選択 (英語)」の得点として換算し利用することも可能 (換算表は19頁参照) (注2)	60分	100点	
		英米文化学科		[外国語]	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ または、外部試験のスコアを「外国語」の得点として換算 (換算表は19頁参照) (注2)	60分	100点	200点
			[選択]	国語 {国語総合 (近代以降の文章に限定)、現代文B}、日本史B、世界史B、地理B、政治・経済の5科目から1科目を試験時選択	60分	100点		

*経済学部・法学部は「学部」単位での募集とし、学科は1年次末に決定します。試験日自由選択制です。両日に出願することもできます。

◎「外国語」及び「選択 (英語)」の解答はマークシート方式です。

(注1) 人文学部1部英米文化学科はリスニングテストを行います。試験前半20分程度で実施し、配点は30点となります。なお、予期せぬトラブル等により、リスニングの継続が困難となった場合には、筆記試験の後にリスニングテストを行う場合があります。

(注2) 英語外部試験のスコアを利用した場合でも、本学「外国語」及び「選択 (英語)」を受験することができます。その場合は、高得点のものを合否判定に使用します。

◎科目間の難易度差による不利が生じないよう得点調整を行うことがあります。

試験日		平成 31 年 2 月 9 日 (土)				
学部		* 経済学部		人文学部		工学部
昼夜・学科/コース		1 部 (昼間部)	2 部 (夜間部)	1 部 (昼間部) 英米文化学科	2 部 (夜間部) 英米文化学科	建築学科
試験時間	1 時限目	10:00~11:00 選 択 (60分)	10:00~11:00 ◆ 選 択 (60分)	10:00~11:00 選 択 (60分)	10:00~11:00 ◆ 選 択 (60分)	10:00~11:00 数 学 (60分)
	2 時限目	11:50~12:50 国 語 (60分)	11:50~12:50 国 語 (60分)	11:50~12:50 国 語 (60分)	11:50~12:50 ◆ 選 択 (国語) (60分)	11:50~12:50 選 択 (60分)
	3 時限目	14:10~15:10 外国語◎ (60分)	14:10~15:10 ◆ 選 択 (英語) ◎ (60分)	14:10~15:30 外国語◎ (80分)	14:10~15:10 外国語◎ (60分)	14:10~15:10 外国語◎ (60分)

試験日		平成 31 年 2 月 10 日 (日)					
学部		* 経済学部		経営学部		工学部	
昼夜・学科/コース		1 部 (昼間部)	2 部 (夜間部)	1 部 (昼間部) 経営学科	2 部 (夜間部) 経営学科	※社会環境工学科 社会環境コース	電子情報工学科
試験時間	1 時限目	10:00~11:00 選 択 (60分)	10:00~11:00 ◆ 選 択 (60分)	10:00~11:00 選 択 (60分)	10:00~11:00 ◆ 選 択 (60分)	10:00~11:00 数 学 (60分)	10:00~11:00 数 学 (60分)
	2 時限目	11:50~12:50 国 語 (60分)	11:50~12:50 国 語 (60分)	11:50~12:50 国 語 (60分)	11:50~12:50 国 語 (60分)	11:50~12:50 選 択 (60分)	11:50~12:50 理 科 (60分)
	3 時限目	14:10~15:10 外国語◎ (60分)	14:10~15:10 ◆ 選 択 (英語) ◎ (60分)	14:10~15:10 外国語◎ (60分)	14:10~15:10 ◆ 選 択 (英語) ◎ (60分)	14:10~15:10 外国語◎ (60分)	14:10~15:10 外国語◎ (60分)

試験日		平成 31 年 2 月 11 日 (月)				
学部		*法学部		経営学部	工学部	
昼夜・学科/コース		1部(昼間部)	2部(夜間部)	1部(昼間部) 経営情報学科	※社会環境工学科 環境情報コース	生命工学科
試験時間	1時限目	10:00~11:00 選 択 (60分)	10:00~11:00 ◆ 選 択 (60分)	10:00~11:00 選 択 (60分)	10:00~11:00 数 学 (60分)	10:00~11:00 数 学 (60分)
	2時限目	11:50~12:50 国 語 (60分)	11:50~12:50 国 語 (60分)	11:50~12:50 国 語 (60分)	11:50~12:50 選 択 (60分)	11:50~12:50 理 科 (60分)
	3時限目	14:10~15:10 外国語◎ (60分)	14:10~15:10 ◆ 選択(英語)◎ (60分)	14:10~15:10 外国語◎ (60分)	14:10~15:10 外国語◎ (60分)	14:10~15:10 外国語◎ (60分)

試験日		平成 31 年 2 月 12 日 (火)			
学部		*法学部		人文学部	
昼夜・学科/コース		1部(昼間部)	2部(夜間部)	1部(昼間部) 日本文化学科	2部(夜間部) 日本文化学科
試験時間	1時限目	10:00~11:00 選 択 (60分)	10:00~11:00 ◆ 選 択 (60分)	10:00~11:00 選 択 (60分)	10:00~11:00 ◆ 選 択 (60分)
	2時限目	11:50~12:50 国 語 (60分)	11:50~12:50 国 語 (60分)	11:50~13:10 国 語 (80分)	11:50~12:50 国 語 (60分)
	3時限目	14:10~15:10 外国語◎ (60分)	14:10~15:10 ◆ 選択(英語)◎ (60分)	14:10~15:10 外国語◎ (60分)	14:10~15:10 ◆ 選択(英語)◎ (60分)

*経済学部・法学部は「学部」単位での募集とし、学科は1年次末に決定します。試験日自由選択制です。両日に出願することもできます。

※工学部社会環境工学科は「コース」単位での募集になります。

◆「選択」の試験は、経済学部2部、経営学部2部、法学部2部、人文学部2部日本文化学科は1時限目と3時限目、人文学部2部英米文化学科は1時限目と2時限目の両方を受験することができます。その場合は、高得点の1科目を合否判定に使用します(18頁参照)。

◎「外国語」及び「選択(英語)」の解答はマークシート方式です。

受験票については9頁の4受験票についてを参照してください。

4 出願手続

- (1) **出願期間 (全学部)**
 平成 31 年 1 月 4 日 (金) ~ [郵送] 1 月 27 日 (日) 消印有効・[窓口] 1 月 28 日 (月) 午後 4 時締切
 ※日曜・祝日ならびに 1 月 4 日 (金) から 1 月 8 日 (火) までは窓口受付は行いません。
- (2) **出願方法**
 出願書類は、本学所定の封筒 (一般入試用) を用いて、「速達簡易書留」で郵送してください。なお、封入の際には、封筒裏面のチェックシートで提出書類を確認してください。
 日本国外から願書を郵送する場合、窓口締切日必着とします。
 経営学部 1 部、人文学部 1・2 部の受験において、英語外部試験を利用する場合は、封筒表面の項目にチェックを入れてください。
- (3) **出願書類送付先**
 〒062-8605 札幌市豊平区旭町 4 丁目 1 番 40 号 北海学園大学 入試部入試課
- (4) **出願書類**
- ① **入学願書 (一般入試用)**
- 1 枚の願書で最大 4 日間分出願することが可能です。
 - 願書は「入学願書記入上の注意および記入例」(巻末)を参照し、記入してください。
 - 写真 1 枚** 願書の写真欄に貼付してください。
 出願前 3 ヶ月以内に撮影した写真 (単身、正面、上半身、無帽、背景なし、カラーでも白黒でも可、縦 3cm×横 3cm) に限ります。必ず枠内に収まるように貼付してください。
- ② **調査書 (発行日が平成 30 年 10 月 1 日以降のもの。既に出願時に卒業・修了している場合は発行日は問いませんが、卒業後・修了後のものを提出してください。)**
 出身学校長が作成し厳封したものに限り。出願学科数に関わらず、必要な調査書は 1 通となります。本人が出身学校より取り寄せてください。(調査書が発行されない場合や氏名に変更がある場合は、54 頁の注意事項を参照してください)
 高等学校卒業程度認定試験に合格した者および合格見込みの者は合格成績証明書または合格見込成績証明書を提出してください。また、大学入学資格検定に合格している者は、合格成績証明書が提出書類となります。
 ※大学入試センター試験利用入学試験にも出願する場合、別途、調査書を用意する必要がありますので、ご注意ください。
- ③ **英語外部試験のスコアを証明する書類 (経営学部 1 部、人文学部 1・2 部のみ)**
 ※詳細は 7 を参照してください。
- (5) **入学検定料の振込、出願上の注意について**
 5 頁を参照して手続きを行って下さい。
- (6) **経済学部・法学部の募集について**
 経済学部・法学部は「学部」単位での募集になります。学科は、1 年次末に決定します。
 試験日は自由選択制で、両日に出席することもできます。
 なお、経済学部は 2 月 9 日・10 日、法学部は 2 月 11 日・12 日が試験日となります。
- (7) **「学内併願」について**
 「学内併願」とは、同一の志願者が、本学において、試験日が異なる学部・学科・コースに複数出願することをいいます。
 ・学内併願をして複数の学部または学科・コースに合格した場合は、希望する学部または学科・コースに間違いなく手続するようにしてください。
- (8) **第二志望について**
 第二志望とは、第一志望の学科 (学部) で合格点に達しなかった場合に、新たに願書を提出しなくとも、副次的に第二志望の学科 (学部) で合格が認められる制度です。ただし、以下の条件があります。
- 第二志望の学科 (学部) の定員に空きがある場合に限られます。
 - 第一志望で合格点に達した場合は、第二志望で合格することはありません。
 - 第二志望が適用されるのは、入学試験で一定以上の点数を得た場合のみです。したがって、常に第二志望に合格するとは限りません。

■一般入学試験で第二志望を行う学科 (学部)

第一志望 (出願学部・学科)		第二志望
経済学部 1 部 (2 月 9 日試験)	→	経済学部 2 部 (2 月 9 日試験)
経済学部 1 部 (2 月 10 日試験)	→	経済学部 2 部 (2 月 10 日試験)
経営学部 1 部 経営学科	→	経営学部 2 部 経営学科
経営学部 1 部 経営情報学科※	→	経営学部 2 部 経営学科
法学部 1 部 (2 月 11 日試験)	→	法学部 2 部 (2 月 11 日試験)
法学部 1 部 (2 月 12 日試験)	→	法学部 2 部 (2 月 12 日試験)
人文学部 1 部 日本文化学科	→	人文学部 2 部 日本文化学科
人文学部 1 部 英米文化学科	→	人文学部 2 部 英米文化学科

※経営学部 1 部経営情報学科で第二志望した場合は、経営学部 2 部経営学科になります。

(9) 出願状況の問い合わせについて

出願状況等については、願書窓口締切日の概ね 5 日前から大学のホームページでお知らせする予定です。

5 受験上の注意

(1) 試験について

- ①試験日当日、受験票を忘れた方はただちに入試課（地方会場は、試験本部）で再発行手続きをしてください。
- ②試験場の開門は、午前8時30分です。午前9時45分までに指定の席に着席し、受験票を机上に提示してください。
- ③2部の受験において、試験を2時限目（午前11時50分）から受験する場合は、午前11時35分までに着席してください。
- ④試験開始後20分を過ぎた場合は、その時間の科目は受験できません。
- ⑤試験会場内は禁煙です。喫煙は指定場所ですしてください。
- ⑥HBの黒鉛筆・シャープペンシル〔外国語および選択（英語）の試験時間は使用不可〕、プラスチック製の消しゴムを持参してください。なお、下敷、定規、コンパス、電動式鉛筆削り等の使用は認めません。
また、電卓、そろばん、翻訳機等の記憶機能つきの用品およびこれに類するものの試験場への持込みを禁止します。また、時計については計時機能だけのものに限りません。（試験場には時計はありません）
- ⑦携帯電話およびこれに類するものは、試験中は電源を切り、カバンの中にしめてください。
- ⑧外国語および選択（英語）の試験はマークシートでの解答になります。解答には、必ずHBの黒鉛筆、プラスチック製の消しゴムを使用してください。HBの黒鉛筆以外のもの、シャープペンシルを使用して解答した場合には、解答が読み取れない事例がありますので、使用しないでください。
- ⑨試験場からの退場については、試験監督者の指示に従ってください。受験票は必ず持ち帰り保管してください。
- ⑩上履きは不要です。

(2) リスニングテストに関する注意

1. 人文学部1部英米文化学科はリスニングテストを行います。試験前半20分程度で実施し、配点は30点となります。
2. 遅刻をした場合は、リスニングテストを受験できません。
3. 予期せぬトラブル等により、リスニングテストの継続が困難となった場合には、筆記試験の後にリスニングテストを行う場合があります。この場合には以下のように試験を実施します。ただし、上記2.の遅刻者は、リスニングテストを受験できません。
(ア) 当初の試験を中断した場合は、中断箇所より後ろの問題に対してテストを再開します。
(イ) トラブルの発生状況から当初の音声問題を用いることができない場合は、異なる音声問題を用いて再テストを行います。当初のテストを受けた受験生と再テストを受けた受験生の平均点に6点以上の差があり、この差が問題の難易度の違いによると認められる場合には得点調整を行います。ただし、全体の20%以上の受験生が再テストを受験している場合に限りません。

(3) 本学（豊平校舎）試験場の受験生へ

- ①各試験日前日の午後3時40分から本学（豊平校舎）の試験場となる校舎の位置確認はできますが、**校舎内の下見はできません。**
- ②会場は、学部・学科・コース、受験番号によって分かれますので、学生正面玄関で受験をする教室を確認してください。
- ③昼食は、できるだけ持参してください。
- ④試験場およびその周辺での駐車を禁止します。校舎内への受験生以外の者の立ち入りはできません。
また、雪害等による交通トラブル等を考慮して、時間に余裕をもって集合してください。

(4) 地方試験場の受験生へ

- ①**地方試験場には、直接問い合わせはできませんので、**本学入試課に問い合わせてください。
- ②会場案内は、試験日当日の午前8時30分に掲示します。試験日前日の下見はできませんので注意してください。
- ③地方試験場には、昼食施設がない所がありますので、注意してください。
- ④試験場およびその周辺には、駐車場がない所もありますので、公共交通機関を利用してください。
また、雪害等による交通トラブル等を考慮して、時間に余裕をもって集合してください。

6 2部の「選択」科目について

(1) 2月9日（経済学部2部）、2月10日（経済学部2部、2部経営学科）、2月11日（法学部2部）の受験生へ

- ①「選択」の6科目のうち、『英語』の試験のみ3時限目に行われます。
その他の5科目については、1時限目に行います。
- ②「選択」の試験は、1時限目と3時限目の両方を受験することもできます。その場合は、高得点の1科目を合否判定に使用します。
- ③「選択」の科目は、試験時選択です。

(2) 2月9日（2部英米文化学科）の受験生へ

- ①「選択」の5科目のうち、『国語』の試験のみ2時限目に行われます。
その他の4科目については、1時限目に行います。
- ②「選択」の試験は、1時限目と2時限目の両方を受験することができます。その場合は、高得点の1科目を合否判定に使用します。
- ③「選択」の科目は、試験時選択です。

(3) 2月12日（2部日本文化学科、法学部2部）の受験生へ

- ①「選択」の5科目のうち、『英語』の試験のみ3時限目に行われます。
その他の4科目については、1時限目に行います。
- ②「選択」の試験は、1時限目と3時限目の両方を受験することもできます。その場合は、高得点の1科目を合否判定に使用します。
- ③「選択」の科目は、試験時選択です。

* 2部においては、選択科目の受験方法が学部・学科により異なりますので、複数の学部・学科を併願する受験生は、上記により確認してください。

7 英語外部試験の利用について (経営学部 1 部、人文学部 1・2 部のみ)

※試験科目の表記について

「外国語」：経営学部 1 部経営学科、1 部経営情報学科、人文学部 1 部日本文化学科、1 部・2 部英米文化学科

「選択 (英語)」：2 部日本文化学科

以下ではすべて「英語」とします。

指定された英語外部試験のスコアを出願時に申告し、そのスコアに応じて本学一般入学試験科目「英語」の得点を換算表のとおり換算し、合否判定に使用します。

英語外部試験のスコアを出願時に申告した場合も本学一般入学試験科目「英語」を受験できます。その場合は、より得点の高い方を合否判定に使用します。

■英語外部試験と基準スコアに応じた換算表

英語外部試験名			基準スコアと換算点			
			○経営学部 1 部経営情報学科 (100 点満点) ○人文学部 1 部・2 部日本文化学科、2 部英米文化学科 (100 点満点)			
			70 点に換算	80 点に換算	90 点に換算	100 点に換算
			○経営学部 1 部経営学科 (150 点満点) ○人文学部 1 部英米文化学科 (150 点満点)			
			105 点に換算	120 点に換算	135 点に換算	150 点に換算
1	実用英語技能検 定 (CSE2.0)	準 1 級・1 級	2000-2099	2100-2199	2200-2299	2300 以上
		2 級	2000-2099	2100-2199	2200 以上	—
2	GTEC CBT		760-819	820-899	900-1029	1030 以上
3	GTEC Advanced 3 技能 (旧 GTEC for STUDENTS) 【オフィシャル・スコアに限定】		520-559	560-609	610-689	690 以上
4	GTEC Advanced 4 技能 【オフィシャル・スコアに限定】		870-939	940-1009	1010-1129	1130 以上
5	ケンブリッジ英語検定		145-154	155-164	165-174	175 以上
6	IELTS		4.0	4.5	5.0	5.5 以上
7	TEAP		235-259	260-279	280-299	300 以上
8	TOEFL iBT		55-64	65-74	75-84	85 以上
9	TOEIC L&R+TOEIC S&W		700-775	780-905	910-1045	1050 以上

■出願時に提出する証明書類について

英語外部試験名	提出書類
実用英語技能検定 (CSE2.0)	英検 CSE スコア証明書 (和文) または合格証明書 (和文)
GTEC CBT	スコアレポート (Score Report)
GTEC for STUDENTS (オフィシャル・スコアに限定)	オフィシャル・スコア (official score)
ケンブリッジ英語検定	「結果ステートメント (Statement of Results)」 または「認定証 (Certificate)」
IELTS (Academic Module に限定)	成績証明書 (Test Report Form)
TEAP	official score report (成績表)
TOEFL iBT	Test Taker Score Report または Examinee Score Report
TOEIC L&R+TOEIC S&W	Official Score Certificate (公式認定証) ※それぞれ 1 枚ずつ

*いずれかの英語外部試験の基準を満たし、その公的証明書 (原本またはコピー※) を提出している場合に、試験科目「英語」の得点として換算し、合否判定に使用します。

※コピーを提出する場合は高等学校長が証明する様式 (入学試験要項巻末の本学所定の用紙・様式 2) を添付すること。

※様式 2 については本学ホームページ (<http://hgu.jp/admission/>) よりダウンロードし、パソコン等で作成したものも提出可能です。

*提出する英語外部試験は、2017 年 1 月以降に受験したもの (実用英語技能検定は 2017 年 6 月以降に受験し CSE スコアが記載されているもの) とします。

*実用英語技能検定は各級の合否ではなく、CSE2.0 を基準とします。

*実用英語技能検定のスコアの横に記載している級については、当該級以上の受験が条件という意味になります (合否は問いません)。従って、準 2 級及び 3 級の CSE2.0 スコアは利用できません。

2 級の 2200 以上の場合、100 点満点で 90 点換算、150 点満点で 135 点換算となります。

*GTEC Advanced 3 技能 (旧 GTEC for STUDENTS) はオフィシャル・スコアとします。GTEC Advanced 3 技能は 2017 年 12 月実施のみ利用可能です。2018 年 6 月以降実施分は利用できません。

*GTEC Advanced 4 技能はオフィシャル・スコアとします。

*IELTS は Academic Module に限定します。

*TOEIC は、Listening & Reading、Speaking & Writing とともに公開テストのスコアであり、その合計点を基準とします。

*TEAP は、複数の成績表を提出すること (受験日が異なる各技能の最高点を組み合わせること) はできません。また、TEAP CBT は含みません。

■その他の注意事項

- ・英語外部試験を利用する受験生の受験票には【英語外部試験利用】の文言が表示されています。
- ・出願資格を証明する書類について、出願資格に定めるスコアを複数有している場合でも、1つに限り提出してください。
- ・スコアの証明書類は他の出願書類と一括して出願期間内に提出してください。
- ・証明書類に不備があるものは受け付けません。
- ・出願書類は返却できないため、証明書等再発行ができない書類を提出しないように注意してください。
- ・本学への出願に間に合うように、十分余裕を持って英語外部試験を受験してください。
- ・スコアを証明する書類の発行には時間を要する場合がありますので、提出書類の準備は早めに行ってください。
- ・各英語外部試験の実施日程・証明書発行等については、各試験実施団体にご確認ください。

8 試験場

※試験場案内図は64頁参照

受験地	会場	所在地
札幌	北海学園大学豊平校舎	札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 TEL 011-841-1161 (代)
旭川	旭川北洋ビル	旭川市4条通9丁目1703番地 旭川北洋ビル8F
帯広	とかち館	帯広市西7条南6丁目2番地
函館	函館北洋ビル	函館市若松町15番7号函館北洋ビル9F
東京	早稲田予備校東京本校	東京都新宿区高田馬場4-4-21
盛岡	いわて県民情報交流センター (アイーナ)	岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

9 合格発表

- (1) 合格者は、平成31年2月23日(土)午前10時に大学構内(豊平校舎)で受験番号を掲示します。
なお、地方試験場での合格発表は行いません。
- (2) 合格者には、発表と同時に合格通知書(本人の総得点ならびに受験学部・学科・コースの合格点記載)および入学手続書類を速達便で郵送します。なお、直接交付はしません。
- (3) 不合格者には、試験結果通知書(本人の総得点ならびに受験学部・学科・コースの合格点記載)を速達便で郵送します。
- (4) 合否電報について
本学では、試験日当日、試験場およびその周辺で合否電報等の委託徴収は一切行っていません。この点のトラブルについて本学は責任を負いませんので十分注意してください。

◎合格発表についての電話等による問い合わせには、混乱防止のため一切応じませんので、ご協力をお願いします。

◎成績の内容(たとえば各科目の得点など)についての確認・問い合わせには一切応じませんので、あらかじめご了承ください。

インターネットによる合格者受験番号一覧の掲載について

正式な合格発表は、大学構内の所定掲示板の公示、および本人宛てに郵送する通知によるものとしますが、受験生の便宜を考慮し、補助的な手段として本学ホームページの「入学案内」に、合格者受験番号一覧を掲載します。

また、アクセスが集中すると、ページが開きにくくなる場合があります。時間をおいてから、再度アクセスしてください。

なお、掲載期間は、合格発表日よりおおむね1週間とします。

「入学案内」のアドレス <http://hgu.jp/admission/>

10 追加合格

入学手続状況によっては、不合格者の成績上位者から追加合格者を発表することがあります。下記の時点で確実に連絡がとれる連絡先（電話番号）を入学願書の「志願者連絡先」、「緊急連絡先」に必ず記入してください。

追加合格者の提出書類および納入金はすべて合格者と同じです。

なお、事前に追加合格予定者としての通知はしません。追加合格は、他学部・他学科・他コースでの合格状況（第二志望合格も含む）・入学手続状況に関係なく、追加合格者を決定します。

一回目…第一次入学手続（入学金の納入）締切後、3月4日以降に、本人あてに電話にて通知する予定です。

二回目…第二次入学手続（授業料等の納入）締切後、3月9日以降に、本人あてに電話にて通知する予定です。

追加合格者の入学手続について

追加合格者の入学手続期間は、追加合格者の発表後、数日（5日間程度）です。

その期間内に、入学手続（入学金と授業料等の納入・入学手続書類の提出）をすべて完了していただくことになります。

なお、すでに本学において入学手続きをしている場合は、新たに合格となった学部・学科（またはコース）への手続に振り替えることができます。

◎なお、追加合格に関する問い合わせには一切応じませんので、あらかじめご了承ください。

11 入学手続

(1) 入学手続期間

第一次手続 平成31年2月23日（土）～3月2日（土）（入学金の納入）

第二次手続 平成31年2月23日（土）～3月8日（金）（入学手続書類の提出と授業料等の納入）

ただし、第二次手続の延期を申し出て許可された者は、平成31年3月25日（月）まで手続の延期を認めます。

◎それぞれの期限までに所定の入学手続を行わない場合には、入学を認めません。

◎「大学入試センター試験利用入試」と「一般入試」において、同一学科（経済学部・法学部の場合は同一学部、工学部社会環境工学科の場合は同一コース）に出願して両方合格した場合は、「大学入試センター試験利用入試」の合格通知に基づき入学手続をしてください。

◎経済学部において、2月9日・10日の両方の試験に合格した場合は、どちらか一方で手続してください。

◎法学部において、2月11日・12日の両方の試験に合格した場合は、どちらか一方で手続してください。

(2) 提出する手続書類等

①卒業証明書（平成31年3月卒業生のみ）

または、合格成績証明書（高等学校卒業程度認定試験合格見込みで受験した者）

②学生カード

③写真2枚（縦3cm×横3cm）

④事項届

⑤学生・学費支給者・保証人住所届

以上の書類を入学手続期間内に、郵送（締切日必着）もしくは本学各学部事務室に持参してください。

(3) 第二次手続の延期について

3月9日以降に合格発表を行う他大学を併願しているため、第二次手続（授業料等）の延期を希望する場合は、第一次手続（入学金）を銀行または信用金庫窓口より振り込んだ後、3月2日（土）までに郵送（必着）または直接本学入試課窓口にて、次の必要書類を提出して許可を得なければなりません。

（提出書類）

①振込金受付証明書……本学所定の第一次手続用振込用紙を使用し、入学金を振り込んだ証明書

②第二次手続延期願……本学所定の用紙に必要事項を記入し、押印してください。

③第二次手続用振込用紙……本学所定の授業料等の振込用紙

この第二次手続の延期を許可された者に限り、平成31年3月25日（月）まで手続を延期することを認めます。

なお、延期許可を受けた場合の第二次手続の詳細については、入学手続要項（合格通知書同封）で通知します。

(4) 授業料等納入金返還について

所定の期間内に入学辞退・学費等納入金返還手続を行った場合、入学金を除く既納入金を返還します。

詳細については、入試課にお問い合わせください。